

一 般 質 問

発言者 辻 正 彦

発 言 の 要 旨 (その1)
1 人口推移に応じた新しい制度設計の必要性について
(1) 行政
① 人口増加時代に発生した諸課題に対応するための制度や計画等について整理しつつ、必要性の高まった新たな分野に注力する考え
② 県都としての本市の役割
③ 瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の他市町の人口減少が、本市に及ぼす影響
④ 本市と県で、より緊密に連携・協力し、政策的に施策・事業を進める考え
(2) 教育
① 年少人口増加時代に発生した諸課題に対応するための制度や計画、組織や団体等について整理統合等を進めつつ、必要性の高まった新たな分野に注力する考え
② 高松市子ども会育成連絡協議会の現状と課題、また、今後、子ども会活動を継続させていくために、どのような支援をしていくのか。
③ 少年育成委員の補導活動に幼少期の子供へのアプローチを加え、親しみやすい関係構築を図る中で、不登校などの小1プロブレムに取り組む考え
④ 総合的な学習の時間において、本市の現状と課題、その解決策の検討について積極的に取り上げることで、当事者意識を持って、課題解決のモチベーションに繋げる考え
⑤ 本市に設置されている市立・県立・国立・私立それぞれの学校の児童生徒や教職員が、所管を越えて交流する考え
⑥ 部活動の地域展開をはじめとする、本市の教育における課題意識を各学校設置者と共有し、各学校のリソースを活用して、本市の子供を地域全体で支えることを目指す考え
⑦ 地域学校協働活動において、事故等が発生した場合に補償対象となる保険に加入する考え
2 文化芸術政策について
(1) 本市の音楽文化の歴史を踏まえ、ユネスコ創造都市ネットワーク音楽分野へ再申

発 言 の 要 旨 (その2)

請する考え

(2) 芸術士と保育士等が連携し、保育現場に音楽も含めたアートを取り入れるための

取組

(3) 音楽を生かした今後のまちづくりに取り組む考え